

# 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

## 研究課題名

Relationship Between Acetabular Coverage and Joint Instability During Hip Flexion in Patients with Symptomatic Developmental Dysplasia of the Hip: Evaluation using Sagittal Images of Computed Tomography

## 1. 研究の対象および研究対象期間

昭和医科大学病院、昭和医科大学江東豊洲病院にて単純 X 線股関節正面像にて変形性股関節症の発症していない発育性股関節形成不全と診断され、股関節痛のある症候性の患者さんで、2021 年 1 月から 2025 年 8 月末日までに股関節適合性の評価の為に股関節伸展と屈曲位で CT 画像評価を受けた患者さん

股関節手術歴のある患者さん、単純 X 線股関節正面像で股関節の大腿骨頭が外側への移動が強く画像評価が困難な患者さんは除外する。

## 2. 研究目的・方法

発育性股関節形成不全は、変形性股関節症の発症に関与するとされています。発育性股関節形成不全には関節不安定性がしばしば伴います。したがって、変形性股関節症の発症リスクを有する股関節痛のある患者さんには、股関節不安定性が存在する可能性があります。股関節不安定性の画像評価は主として単純 X 線像によって行われていますが、関節不安定性の評価には、股関節の前後方向の不安定性も含めて評価する必要があります。しかし、単純 X 線像では放射線画像の限界によりこの評価は困難です。本研究では、股関節伸展と屈曲で施行された CT 画像を使用し、股関節屈曲における大腿骨頭中心の前後方向移動量を評価することにより関節不安定性を検討します。本研究の目的は、症候性 DDH 患者における非荷重下股関節屈曲時の矢状面前後方向の関節不安定性を、CT 矢状断像を用いて評価し、寛骨臼の被覆の状態と、股関節の 3 次元的な動的な関節不安定性の関係を明らかにすることです。

## 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 10 月 3 日

まで

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのカルテ情報（年齢、身長、体重、股関節痛の有無）

単純 X 線写真 股関節正面像

股関節伸展 0 度で施行された股関節単純 CT 画像

股関節屈曲 30 度で施行された股関節単純 CT 画像

#### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

#### 6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院

吉川泰司

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部整形外科学講座

氏名：吉川泰司

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8543